



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校だより

令和6年5月31日

体育祭

校長 福田博志

5月はゴールデンウィークから定期テスト1週間前に入り、中間テストの実施、その2日後に市教育委員会指導訪問、その10日後に体育祭と、慌ただしい日々となりました。当日は心配された暑さも、さほどなく、晴天の下、体育祭を開催することができました。

体育委員長の力強い選手宣誓の後、全校生徒で行う軽快なリズムのハンドクラップダンスは圧巻の演技でした。来賓の方からは、称賛のお言葉をいただきました。競技が始まると、真剣そのもの。一生懸命さが伝わってきました。真剣さの中にも、楽しみながら、仲間を思いやり協力して取り組んでいる姿に、本校生徒のあたたかさや固い絆を感じました。「赤い先生」や「黄色い先生」も出現しました。学年種目では、学年主任の先生からの激励のマイクパフォーマンスが披露され、それぞれの学年ごとに大いに盛り上がりました。まさに、大成中学校の「よさ」全開の体育祭を行うことができました。

私は、いつも「カッコよさ」を追究しています。体育祭で見つけた成中生のカッコよさは、最後まで手を抜かず、がむしゃらに頑張り通せるところです。たとえ途中で抜かれても最後まであきらめない姿があらゆる場面で見られました。皆さんは、クラスや自分自身の誇り、仲間の声援を背負ったからこそ頑張れたのでしょう。勝ち負けは、時の運もあります。しかし、仲間との絆は一生の思い出となります。また、競技者としてだけでなく競技役員として、応援者として、自分の役割や仕事に責任をもって果たしている姿や仲間を励ましている姿が随所に見られました。様々な「カッコよさ」が見られた体育祭でした。今日深まった絆と頑張り通した自信を生かして今後の中学校生活をさらに素晴らしいものにしてください。これからも「大成中の仲間」として共に頑張りましょう。

ところで、力いっぱい走ったり、跳んだりしている成中生の皆さんを見ていて、私は、うらやましく思いました。若さは後戻りすることはできませんから、今、精いっぱい輝いてください。中学生時代は悩みや心配事が常にありますが、楽しいことも多いです。振り返ると素敵な3年間です。

